



## ミュージアム青空レクチャー 「横野山王原遺跡 見学会」

横野山王原遺跡は新東名高速道路建設事業に伴い発掘されている遺跡です。調査は平成 26 年度 10 月から開始されています。近世、奈良平安時代、弥生時代 さらに縄文時代までの遺構、遺物が発見されています。今回は発掘現場の見学、写真パネルによる調査区と出土遺物の概要説明を実施いたします。また、考古学に関するイベントとしてミニ講座「遺跡に残された災害の痕」(仮称)を実施します。

日 時 平成 30 年 2 月 24 日(土)  
第 1 回目 10 時から 11 時 30 分まで  
第 2 回目 13 時 30 分から 15 時まで  
小雨決行 荒天の場合は翌日同時刻に順延

場 所 横野山王原遺跡発掘調査事務所  
(秦野市横野 221 付近) (バス停留所から誘導あり)

アクセス 小田急線秦野駅北口バス乗り場 2 番 秦 51 系統 渋沢駅行  
横野入口または戸沢入口下車徒歩 5 分  
秦野駅(参考)発車時間 9:13/9:29  
12:40/13:05

小田急線渋沢駅北口バス乗り場 2 番 秦 51 系統 秦野駅行  
横野入口または戸沢入口下車徒歩 5 分  
渋沢駅(参考)発車時間 9:24/9:35  
12:45/13:03

申し込み 事前の申し込みは必要ありません。当日現地にお越しください。

参加費 無料

**今回は現地に駐車場がありませんので 公共交通機関でお越しください**

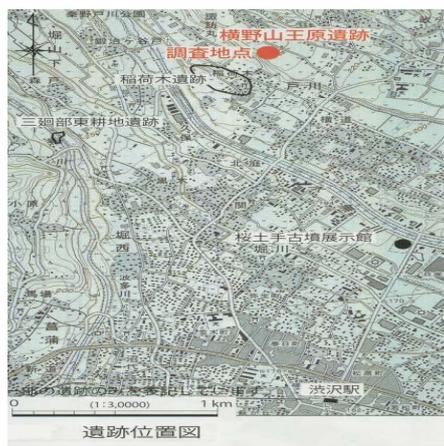
**横野山王原遺跡の概要**：横野山王原遺跡は小田急線渋沢駅の北約3kmの秦野盆地を見下ろす緩斜面地に立地しています。東側に唐沢川 西650mには水無川が流れています。発掘地点の標高は約250mです。

**近世**：宝永の富士山の噴火による大量の火山灰が堆積し、これらを廃棄するために土坑や溝を掘り、そこに火山灰を埋めてその上に掘り出した下層の土をかぶせて畑地を復興した”天地返し”の痕が発見されました。

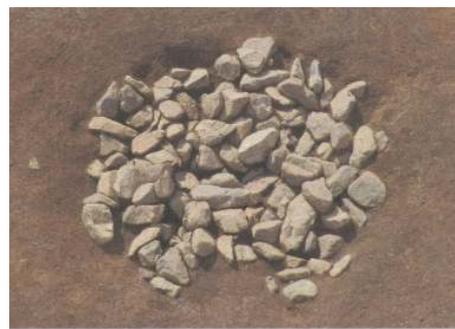
**奈良・平安時代**：平成28年からの調査で3区では円形土坑が88基、溝状遺構が1条発見されました。4区では円形土坑が12基と、道状遺構1条、溝状遺構1条が発見されています。この時代の遺物包含そのは、近世以降の大規模耕作などにより削平されていたためほとんど残っていません。

**弥生時代**：平成28年からの調査で3区で土坑が7基発見されています。かなり深く掘りこまれておりおそらく落とし穴と思われます。

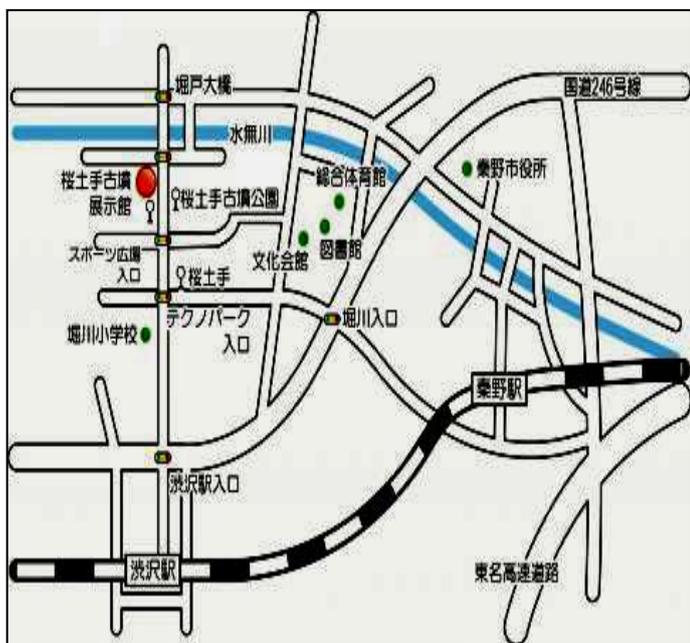
**縄文時代**：集石と呼ばれる焼礫の集合が18基発見されました。集石遺構は蒸し焼き料理などに使用された調理施設と考えられています。土坑は弥生時代と同様多くは落とし穴と考えられています。注目すべきは石皿と磨り石がまとまって出土しているので おそらく石鏝の製作跡が近くに存在すると思われます。(公益財団法人かながわ考古学財団 平成29年度発掘調査成果発表会資料より転記)



近世 天地返し遺構全体



3区 縄文時代 集石遺構



**＜桜土手古墳展示館へのアクセス＞**

- ☆小田急線渋沢駅北口より徒歩 20 分
  - 〃 バス秦 54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2 分
  - 〃 バス秦 08 秦野駅行「桜土手」下車 徒歩 10 分
  - 〃 渋 05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2 分
- ☆小田急線秦野駅北口より
  - 〃 バス秦 54 渋沢駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2 分
  - 〃 バス秦 08 渋沢駅北口行「桜土手」下車 徒歩 10 分
- ☆ 入館無料 開館時間午前 9 時～午後 5 時 (月曜休館) 駐車場有 (入館は午後 4:30 までです)

**桜土手古墳展示館だより Vol. 64号 平成29年度冬A号**

発行日 平成30年1月30日  
 編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館  
 〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下 380-3  
 TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

ホームページ：[桜土手古墳展示館](#)